

第46期中間事業報告書

(平成14年2月1日～平成14年7月31日)

証券コード：7956

株主メモ

決算期	毎年1月31日
定時株主総会	毎年4月中
配当金	毎年1月31日(ただし、中間配当を行う場合は7月31日) 最終の株主名簿および実質株主名簿に登録されている株主 または登録質権者にお支払いいたします。
名義書換代理人	東京都千代田区永田町二丁目11番1号 三菱信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区永田町二丁目11番1号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部
同事務連絡先 (お問合せ先) (郵便物送付先)	〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 03-5391-1900(代表)
同取次所	三菱信託銀行株式会社 全国各支店
手数料	名義書換 当社名義書換代理人へ直接お持込みの場合無料 新株券交付 その新株券発行に係る印紙税相当額
1単元の株式の数	100株
単元未満株式の 買取請求取扱場所	上記名義書換代理人がお取り扱いいたします。ただし、 実質株主名簿に登録(株券保管振替制度により株券を預託) されている場合は、お取引の証券会社等にお申し出ください。
公告掲載新聞	日本経済新聞

ご案内

- ①当社の配当金は、お取引銀行口座への直接入金方法をご利用いただけますと、迅速、確実にお受け取りになれます。
- ②住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求に必要な各用紙および株式の相続手続依頼書のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120-86-4490で24時間承っておりますので、ご利用ください。



この報告書は、環境に優しい大豆油インキを使用
して印刷しています。



古紙配合率100%再生紙を使用しています



社団法人発明協会
 第24回未来の科学の夢 絵画展 小学校・中学校の部 経済産業大臣賞「地球のそうじ機」 鳥取県鳥取市立醇風小学校5年 松田 佳恵さん
 私たちみんなが、少しずつ地球をよごして地球環境を悪くしています。私は、そのよごれやゴミをすいとる大きなそうじ機があればいいな、と思いました。

ピジョン株式会社

売上 2.8%増

(連結売上高 / 前中間期比)

売上高は前年中間期に比べ4億59百万円増加し、166億45百万円となりました。消耗品の売上は厳しい状況でしたが、ベビーフードなど新商品が寄与し、子育て支援事業も大幅に伸張したため、育児事業は2.8%の増収でした。介護事業も在宅介護支援サービスのピジョン真中株が健闘し、同事業の売上高は5.0%伸びました。

損益 30.5%増

(連結経常利益 / 前中間期比)

経常利益は前年同期比2億27百万円増加しました。その主な要因は、増収に伴う売上総利益の増加、原材料費の低減・高収益商品へのシフトによる売上原価率の改善です。さらに昨年、代理店の自己破産に伴い特別損失に計上した貸倒引当金の繰入れがなく、中間純利益は6億55百万円改善しました。

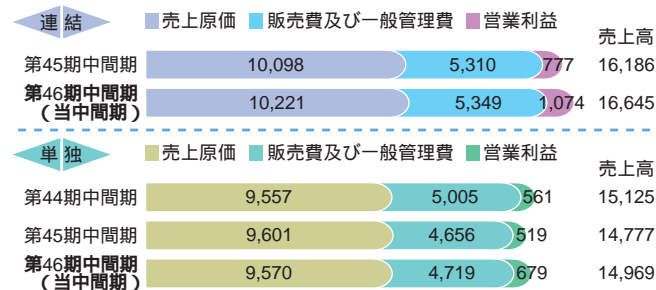
資産 0.7%減

(連結総資産 / 前期末比)

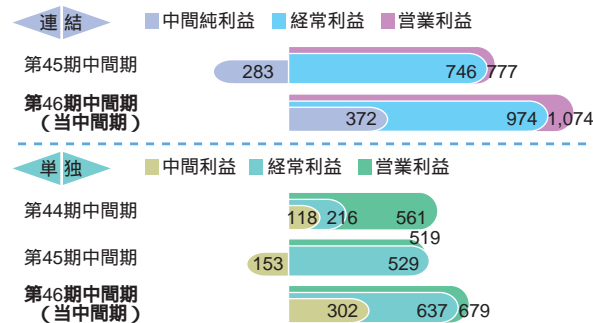
総資産は前期末比2億27百万円減少し、307億44百万円となりました。流動資産が8億40百万円増加した主な要因は、夏季の売上高が特に多額であったためです。また、固定資産が10億67百万円減少した要因は、投資有価証券を時価評価したことと社債の償還資金に充当のため、一部売却を行ったことによるものです。

第45期から「中間連結財務諸表」を作成しているため、一部(「売上高と原価・経費の推移」、「利益の推移」)の連結グラフの表示は第45期中間期、第46期中間期の2期比較となっております。

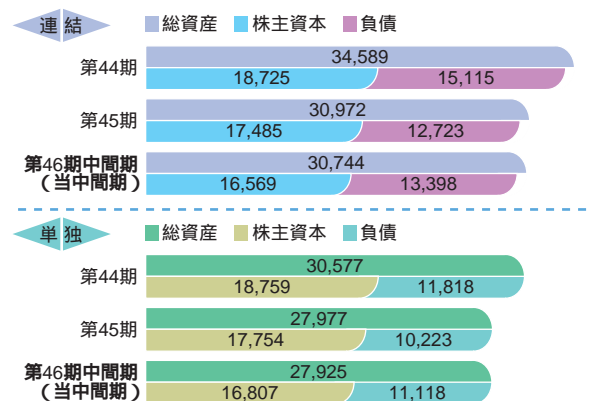
売上高と原価・経費の推移 (単位: 百万円)



利益の推移 (単位: 百万円)



財務の構成 (単位: 百万円)



平成14年10月 代表取締役社長

杉村 誠一

「企業価値の創造21」の順調な遂行により増収増益を実現。より価値ある企業への変貌を目指して一層の努力を。

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃のお引き立てに対し御礼申し上げますとともに、一言ご挨拶申し上げます。

当社グループは、当期より新中期3ヵ年経営計画「企業価値の創造21」に取り組んでおります。2年後の第48期(平成17年1月期)に「連結売上高382億円」、「連結売上高営業利益率および連結ROA(総資産経常利益率)はそれぞれ8%」を数値目標に掲げ、「三世代マーケティングの深耕」、「海外事業戦略の強化」を基本戦略とした諸政策を、グループ一丸となって推進しております。

当中間期は、中国・韓国向けをはじめとした海外事業が伸張し、また、保育・託児など子育て支援事業も順調に推移して、新中期3ヵ年経営計画のスタートの年にふさわしい業績をあげることができました。連結ベースで大幅な経常増益をはたすなど成果が確実に表れており、当通期さらには来期以降へも大いに希望がもてる状況となっております。

引き続き下期は、不織布製品を生産するピー・エイチ・ピー兵庫株の経営権を8月1日付にて取得し、生産体制の強化、コスト競争力の向上を図っております。海外では、今春上海に設立した子会社から中国市場に向けて商品供給が本格化し、タイの子会社においても生産設備の増強が完成する予定です。

今後も内外共に依然厳しい経営環境が続くものと予測されますが、当中間期の業績に慢心することなく、引き続き新中期3ヵ年経営計画の諸政策遂行による着実な数値目標達成へ、力の限り努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



トータルコストの低減と新商品の積極的な市場投入で売上高・利益共拡大。

育児事業の新商品、子育て・介護事業が売上高に貢献し利益回復。

当中間期のわが国経済は、設備投資が引き続き減少し、個人消費も全体としては低調な動きで推移いたしました。このような経済状況のもと、当社グループは新たな中期経営計画「企業価値の創造21」の初年度として、外部環境の変化にも迅速かつ適切な意思決定が行える社内環境を構築することに傾注いたしました。

育児事業では、「全身ベビーソープ（泡タイプ）」、「ベビーフード初の「レンジで蒸しパン」」、「ベビー飲料（紙パックタイプ）」等の新商品がご好評を得て売上高に貢献いたしました。子育て支援事業では、事業所内保育、ピジョンキッズワールド(株)の駅型保育等の新規開設により、それぞれが前年同期を上回る売上高を達成して、好調に推移いたしました。

介護事業では、「トイレタリー用品」が順調に推移したことで売上高は前年実績を上回りましたが、「尿取りパッド」は販売価格が下げ止まらず、わずかに前年実績に届きませんでした。また、在宅介護支援サービスのピジョン真中(株)は順調に売上高を伸ばしており、本年7月栃木県鹿沼市にも事業所を開設いたしました。

その他事業では、「サプリメント」と「ハーブティー」は全国の専門店・ドラッグストアへの販売促進活動を展開いたしました。前年実績には届きませんでした。

海外事業が順調に推移。子育て支援事業も新たな取組み開始。

海外部門の概況は、韓国、中国、シンガポール向けの輸出が好調で、「哺乳器」、「母乳関連用品」、「おしゃぶり&トイ」等が好調な実績をあげております。また、タイの子会社に「ウエットナップ」の生産ラインを新設し、事業インフラ等の成長基盤は順調に整いつつあります。

子育て支援事業は、「ピジョンランド常総」が、認可保育園に認定され、受託児童の受け入れにより大幅な収益改善が実現しました。事業所内保育では3社^{*1}からの受託運営を開始し、好調に推移しています。一方、ピジョンキッズワールド(株)は私鉄2社をオーナー（事業主体）としてそれぞれ駅構内^{*2}にチャイルドケアセンターを開設、単年度黒字化は確実となりました。

当中間期の連結の業績は、売上高166億45百万円（前年同期比2.8%増）、経常利益はコスト改善効果が表れ9億74百万円（同30.5%増）、中間純利益は3億72百万円（前年同期は2億83百万円の純損失）となりました。なお、中間配当金は1株当たり普通配当8円といたしました。

また、当社単独の当中間期業績は、売上高は149億69百万円（前年同期比1.3%増）、経常利益は6億37百万円（同20.5%増）、中間利益は3億2百万円（前年同期は1億53百万円の損失）となっております。

*1 株式会社デンソー、日本郵船株式会社、マツダ株式会社
*2 京阪守口市駅、阪急池田駅（共に大阪府）

事業別概況

育児事業

授乳関連用品

哺乳びん、乳首、哺乳びん洗浄液、哺乳びん消毒剤、消毒容器、哺乳びん洗浄ブラシ、消毒はさみ、母乳パッド、さく乳器



離乳関連用品

マグマグ、調理器具、ベビー食器、食事用エプロン、ベビーフード、ベビー飲料



H&B関連用品

ソープ、シャンプー、オイル、ローション、UVスキンケア、パウダー、おしりナップ、ウエットティッシュ、綿棒、乳歯ブラシ、つめきりハサミ、クールまくら、冷却用シート



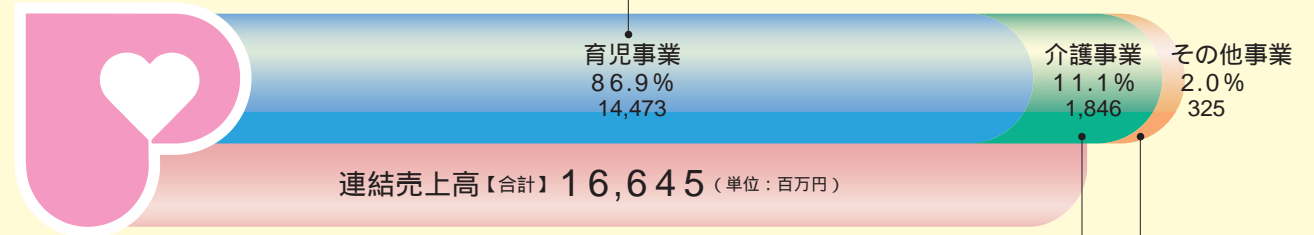
知育・遊び用品

おしゃぶり、口腔発達トレーニング、ハンドトイ、バストイ



その他ベビー関連用品

小児用医薬品、耳式体温計、電子体温計、温湿度計、体重計、湯温計、セーフティグッズ、マタニティインナー、マタニティポディスキンケア、マタニティ衛生用品、託児・教育サービス



介護事業

大人用紙おむつ、尿とりパッド、快適パッド、おむつカバー、失禁用吸収パンツ、失禁用快適パンツ、防水シート、健康枕、おしりふき、からだふき、尿器、便器、シャンプー、清拭剤、消臭用品、食器食具、食事用エプロン、口腔衛生用品、歩行補助器



その他事業

サプリメント、ハーブティー、一般用ウエットティッシュ、消毒洗浄スプレー



連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	第46期中間期末 平成14年7月31日現在	第45期中間期末 平成13年7月31日現在	第45期末 平成14年1月31日現在
資産の部			
流動資産	15,262	14,367	14,422
固定資産	15,481	18,481	16,549
資産合計	● 30,744	32,848	30,972
負債の部			
流動負債	11,388	8,093	9,757
固定負債	2,010	6,431	2,965
負債合計	● 13,398	14,525	12,723
少数株主持分	776	659	763
資本の部			
資本金	5,199	5,199	5,199
資本準備金	5,133	5,133	5,133
連結剰余金	7,907	7,916	7,697
その他有価証券評価差額金	332		
為替換算調整勘定	309	314	273
自己株式	1,028	270	272
資本合計	● 16,569	17,664	17,485
負債、少数株主持分及び資本合計	30,744	32,848	30,972

(注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 11,229百万円 10,583百万円 10,827百万円
 2. 1株当たり中間(当期)純利益(は損失) 19円05銭 14円12銭 17円07銭
 百万円未満は切り捨てています。

連結資産

流動資産の増加は受取手形・売掛金の増加によるものです。夏季の売上が大きい傾向があり、例年は中間期に売掛債権が膨らむ一方、現預金が少なくなります。しかし、当期は社債の償還を8月に控えて手元の現預金を厚くしたため、当中間期の現預金は前期並となりました。

連結負債

前期末に比べ流動負債は16億30百万円増加し、固定負債は9億55百万円減少しました。買掛債務が売掛債権に比例して増加したうえ、返済期日が1年以内となった長期借入金が流動負債へ振り替わったためです。なお、有利子負債は、上期に1億36百万円減少しました。

連結株主資本

資本合計は前期末比で9億15百万円減少しました。中間純利益が連結剰余金を増加させましたが、その他有価証券評価差額金が3億32百万円のマイナスとなったほか、資本の減額項目となる自己株式を7億56百万円取得したためです。(詳細は10頁「自己株式の取得状況について」をご参照ください)

〔連結の範囲に関する事項〕 次の9社を連結の対象にしています。
 ビジョンホームプロダクツ株式会社 ビジョンウィル株式会社
 ビジョンキッズワールド株式会社 ビジョンクオリティオプライフ株式会社
 ビジョン真中株式会社 株式会社フクヨー茨城
 PIGEON SINGAPORE PTE.LTD.
 PIGEON INDUSTRIES (THAILAND) CO.,LTD. THAI PIGEON CO.,LTD.
 ●ビー・エイチ・ビー兵庫株式会社およびPIGEON(SHANGHAI)CO.,LTD.は、第46期末決算より連結対象会社となります。

〔持分法の適用に関する事項〕 次の2社について持分法を適用しています。
 クラフレックス茨城株式会社 P.T.MODERN PIGEON INDONESIA

財務情報 みどころ勘所

よく目にしませんか?

フリー・キャッシュ・フロー (FCF)

キャッシュ・フロー (CF) 計算書が制度化されて以来お馴染みになりました。以前は何通りもの算出方法が通用していましたが、現在は営業CFと投資CFの合計額をFCFとするのが一般的です。不況時には企業活動の資金を自前で賄うという手堅さが求められるでしょう。1株当たりFCFを投資の指標にされる例も多いようです。

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	第46期中間期 平成14年2月1日から 平成14年7月31日まで	第45期中間期 平成13年2月1日から 平成13年7月31日まで	第45期 平成13年2月1日から 平成14年1月31日まで
売上高	● 16,645	16,186	31,740
売上原価	10,221	10,098	19,617
販売費及び一般管理費	5,349	5,310	10,635
営業利益	1,074	777	1,487
営業外収益	195	186	395
営業外費用	295	217	462
経常利益	● 974	746	1,419
特別利益	5	2	406
特別損失	95	1,017	2,198
税金等調整前中間(当期)純利益*	884	268	373
法人税、住民税及び事業税	202	101	415
法人税等調整額	203	162	613
少数株主利益	106	75	166
中間(当期)純利益*	372	283	342

百万円未満は切り捨てています。
 * は損失を表しています。

連結売上高

前年同期比4億59百万円の増収になり、国内は新商品に加えて、子育て支援サービスが大きく寄与しています。ビジョンキッズワールド(株)は駅型託児事業が軌道に乗り、単年度収益は黒字転換の目途が立っております。海外では中国市場の拡大が牽引役となり、「哺乳器」「母乳関連用品」が伸張し、中でも米国向け母乳パッドのOEM生産が活況を示しております。海外事業全体では、10.0%増収の17億42百万円で、構成比は前年上期の9.8%から10.5%へ上昇しました。

連結経常利益

製造原価低減と同時に物流費等の経費を削減し、営業利益は前年同期比38.2%増加しました。円高による為替差損等のため営業外収支は69百万円悪化したものの、経常利益は30.5%増加しました。その結果、売上高経常利益率は前年同期の4.6%から5.9%へ改善しました。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	第46期中間期 平成14年2月1日から 平成14年7月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	936
投資活動によるキャッシュ・フロー	53
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,126
現金及び現金同等物に係る換算差額	11
現金及び現金同等物の増減額	124
現金及び現金同等物の期首残高	3,873
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,748

百万円未満は切り捨てています。

連結キャッシュ・フロー(CF)計算書

利益改善により営業CFが、投資有価証券の売却等で投資CFが前期末に比べそれぞれ増加し、フリーCFは、9億90百万円となりました。これらを自己株式の取得等に充てた結果、現金収支は前期末に比べ1億24百万円減少しました。(フリーCFは、5頁「財務情報 みどころ勘所」をご参照ください)

● 単独貸借対照表(要旨)

(単位: 百万円)

	第46期中間期末 平成14年7月31日現在	第45期中間期末 平成13年7月31日現在	第45期末 平成14年1月31日現在
資産の部			
流動資産	13,450	12,544	12,547
固定資産	14,475	17,659	15,430
資産合計	27,925	30,203	27,977
負債の部			
流動負債	9,823	6,351	8,074
固定負債	1,295	5,434	2,149
負債合計	11,118	11,786	10,223
資本の部			
資本金	5,199	5,199	5,199
法定準備金	5,466	5,450	5,466
剰余金	7,503	7,767	7,360
(うち中間[当期]利益)*	(302)	(153)	(383)
その他有価証券評価差額金	333		
自己株式	1,028		272
資本合計	16,807	18,416	17,754
負債及び資本合計	27,925	30,203	27,977

(注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 7,534百万円
 2. 1株当たり中間(当期)利益* 15円48銭
 百万円未満は切り捨てています。
 * は損失を表しています。

● 単独損益計算書(要旨)

(単位: 百万円)

	第46期中間期 平成14年2月1日から 平成14年7月31日まで	第45期中間期 平成13年2月1日から 平成13年7月31日まで	第45期 平成13年2月1日から 平成14年1月31日まで
売上高	14,969	14,777	28,800
売上原価	9,570	9,601	18,552
販売費及び一般管理費	4,719	4,656	9,367
営業利益	679	519	880
営業外収益	170	188	291
営業外費用	212	179	358
経常利益	637	529	813
特別利益	85	2	403
特別損失	207	780	1,936
税引前中間(当期)利益*	515	249	719
法人税、住民税及び事業税	57	17	225
法人税等調整額	155	113	560
中間(当期)利益*	302	153	383
前期繰越利益	4,171	4,859	4,859
中間配当額			160
中間配当に伴う利益準備金積立額			16
中間(当期)未処分利益	4,474	4,706	4,299

百万円未満は切り捨てています。
 * は損失を表しています。

特集 **ピジョン** 哺乳びん
母乳実感

ピジョン永年の哺乳研究から生まれた

「お母さんのおっぱいみたい」な乳首
 「母乳実感」新発売。



50年以上におよぶ独自の哺乳研究が
 画期的な新商品としてカタチとなりました。

昭和24年に日本初の「キャップ式広口哺乳器」を発売して以来、当社は哺乳びん、乳首のパイオニアとして独自に哺乳器の研究開発を行っています。とくに昭和49年頃より哺乳運動を科学的に研究し、その結果を学会等で発表、昭和63年には赤ちゃん特有の哺乳運動のメカニズム「蠕動様運動」を解明するなど、専門メーカーとして高い実績を重ねてきました。この永年にわたる研究成果を具現化したのが、本年9月2日より発売した新商品「母乳実感」です。主な特長は ● 広口で赤ちゃんが大きく口を開けて飲む ● おっぱいのように伸びる ● おっぱいのようにやわらかい ● おっぱいのように弾力があってつぶれない、の4点。従来品より飛躍的に「お母さんのおっぱい」に近づいた、他社の追随を許さない最先端の哺乳器だと自負しています。お母様方を対象に行った試作品のモニター結果でも、約9割の方から4つの特長に対して、高い評価をいただきました。

「母乳実感」には、母乳育児を応援する
 ピジョンの企業姿勢が込められています。

当社では赤ちゃんにとって母乳が一番と考えており、少しでもお母さんのおっぱいに近づけるような商品を願い、日々研究をしています。「母乳実感」は、幅広い市場ニーズにお応えするため従来型の哺乳器と並行して販売しますが、人工乳首に抵抗のある方や母乳にこだわる方へ、よりアピール性の強い哺乳器と位置づけています。「母乳育児の推奨」を掲げるピジョンの姿勢をより明確に打ち出すことができる点でも、意義深い新商品の登場です。これから多くのお母様方にご使用いただき、自然な哺乳により近づいた「母乳実感」を通じて、母乳育児を応援する企業姿勢と当社の優れた研究開発力の成果を評価していただけるものと確信しております。

お母さんのおっぱいのようにフィットする
 乳首なので哺乳運動がしっかりできます。



Stockholder's Voice 株主の皆様「声」が私たちの原動力

アンケートを通じて株主の皆様からたくさんの「声」をお寄せいただき、誠にありがとうございます。ビジョンは皆様の声を大切に、ご期待にお応えするため努力を重ねてまいります。今後とも一層のご理解・ご支援を、よろしくお願い申し上げます。

海外事業戦略の進行状況は。

当社は1997年より日本および東南アジアの当社グループの生産拠点から中国に輸出を行った結果、主要都市への商品導入が進み、都市部におけるベビー用品市場も急激に拡大してまいりました。そこで中国市場への本格参入のため、本年4月に100%出資子会社のPIGEON SHANGHAI CO.,LTD.（通称「ビジョン上海」）を設立いたしました。この会社は、上海郊外の保税區*に工場をもち、上海市内に販売事務所を構えて、中国市場に向けた現地生産加工、調達活動を行うとともに、現地でのマーケティング活動、代理店のサポート等を行います。本年6月には、工場の操業および代理店に対する販売が始まり、現地調達も順調に進み、ビジョンブランドの認知も大都市を中心に母様方、病産院等に徐々に浸透しつつあります。昨年度、輸出だけで2億6千万円の中国国内の売上高を2~3年後には10億円程度まで拡大する計画で、中国市場を海外事業展開の中核に据えております。

*一般的には外国から輸入する貨物に対し、輸入関税やその他の課税を保留したまま蔵置することができる地区をいいます。輸出加工貿易では、安価な部品調達、自社生産管理、簡便な輸出手続等のメリットを生かして、品質維持、低廉、スピーディーな出荷が魅力です。



ママ宝宝（中国広東省中山市）



ビジョン上海

ビジョンの介護事業についてお聞かせください。

8月1日付にて、尿取りパッドなど不織布製品の生産会社であるピー・エイチ・ピー兵庫株の経営権を簡易株式交換により取得し、当社の100%子会社にいたしました。生産子会社の拡充を通じてコスト低減が図られ、厳しさの増す尿取りパッドをはじめとした消耗品の低価格化競争にも対応でき、確実に市場で勝ち得る販売戦略も可能になります。一方、ソフトサービスの分野では、栃木県南部を活動エリアとして地域に根ざした良質な介護サービスを提供することを目指し、平成12年12月にパナケア真中(株)と共同でビジョン真中(株)を設立し、お客様の信頼を日々得て業績を伸ばしてまいりました。本年7月、同社は県西部を担当する鹿沼事業所を新たに開設いたしました。この地域は、介護施設へ通所する方が多いため、同社の特長であります24時間365日の訪問介護をアピールしており、すでに計画の2倍以上のサービス依頼がきております。さらに訪問入浴、福祉用具の販売・レンタルおよび住宅改修等の多様なニーズにも応えることができ、今後のエリア拡大にも展望が開けております。

TOPICS

ビジョンの子育て支援事業について

株式会社の参入規制が撤廃されて以降、全国展開する大手企業では初めて、当社直営の保育所「ビジョンランド常総」が茨城県より認可され、本年4月認可保育園「ビジョンランド常総保育園」として新たにスタートい

いたしました。今回の認可で得た信用力を活かし、さらにきめ細やかな子育て支援サービスの提供へ努めてまいります。また、ベビーシッター事業「ビジョンウエンディ」が同月、首都圏、関西圏に続き名古屋市を中心に愛知県でもサービスを開始いたしました。

会社概要（平成14年7月31日現在）

設立年月日 昭和32年8月15日
 事業内容 育児用品・介護用品・マタニティ用品等の製造販売および輸出入、ベビーシッターの請負ならびにこれに付帯関連する事業
 資本の額 5,199,597千円
 従業員数 375名

【主要事業所】
 本社 東京都千代田区
 事業所 茨城県稲敷郡阿見町
 物流センター 茨城県稲敷郡阿見町・茨城県常陸太田市
 兵庫県神崎郡神崎町
 研究所 茨城県筑波郡谷和原村
 営業所 札幌・仙台・大宮・東京・横浜・名古屋
 大阪・広島・福岡 他2カ所
 認可保育園 茨城県筑波郡谷和原村
 保育、託児施設 大阪府吹田市 他2カ所

役員（平成14年10月1日現在）

代表取締役会長 仲田 洋 一
 代表取締役社長 松村 誠 一
 常務取締役（お客様相談室兼子育て支援事業部担当） 島田 弘子
 常務取締役（関連事業部兼テキストスタイル事業部担当） 小川 徹雄
 取締役（R&Dセンター兼T・Q・Cセンター担当） 豊田 喜夫
 取締役（購買部兼物流部担当） 太田 博史
 取締役（ピー・エイチ・ピー兵庫株式会社代表取締役） 上杉 信正
 取締役（経営企画室担当） 倉嶋 喬
 常勤監査役 伊藤 英明
 常勤監査役 牛木 昭喜
 監査役（非常勤） 服部 昭一
 監査役（非常勤） 杉野 繁
 執行役員（人事・総務部担当） 大越 昭夫
 執行役員（経理部兼情報システム部担当） 佐藤 繁
 執行役員（子育て支援事業部担当） 須郷 達也
 執行役員（営業本部担当） 勝木 尚
 執行役員（マーケティング部担当） 田中 公義
 執行役員（R&Dセンター担当） 長坂 明
 執行役員（T・Q・Cセンター担当） 山本 春美
 執行役員（海外事業部担当） 太田 和比古

（注）監査役 服部昭一および杉野 繁は、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役であります。

株式の状況（平成14年7月31日現在）

会社が発行する株式の総数 60,000,000株
 発行済株式の総数 20,275,581株
 株主数 15,122名
 自己株式 1,172,411株*

大株主（上位10名）	持株数(千株)	持株比率(%)
仲田洋一	7,973	39.33
ビジョン社員持株会	437	2.16
日本スタートラスト信託銀行株式会社	232	1.14
資産管理サービス信託銀行株式会社	225	1.11
第一生命保険相互会社	222	1.10
日本生命保険相互会社	202	1.00
株式会社東京三菱銀行	177	0.87
株式会社UFJ銀行	174	0.86
株式会社みずほコーポレート銀行	174	0.86
手塚克麿	157	0.78

* 自己株式の取得状況について

本年4月開催の株主総会において自己株式取得をご承認いただき、同月、自己株式895,900株を総額7億56百万円で取得いたしました。なお、このうち868,800株は、ピー・エイチ・ピー兵庫(株)を子会社化するための簡易株式交換(8月1日付実施)に充当しております。この他にストックオプション制度の採用により、275,000株を保有しております。